

平成27年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 道徳・心の教育の充実	2 いじめや問題への対応	3 学校の支援体制
学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
【学校から】【1 道徳・心の教育の充実】道徳教育に関しては、道徳の授業の充実はもちろん、日常の中での些細な事柄も見逃さず、職員が共通理解をもって指導に当たっている。教職員、保護者の評価も、昨年度より「4」の評価が2ポイント上回った。【2 いじめや問題への対応】毎月の「きずなアンケート」で、いじめの把握を行うとともに、児童との日常のコミュニケーションを大切にしながら、早期発見に努めている。教職員、保護者、児童ともに「4」と「3」の割合の合計が昨年より増えている。特に、児童では「4」の割合が7ポイント上回った。ただ、保護者、児童に「2」「1」の評価が見られるので、更なる信頼関係作りに努力する必要がある。【3 学校の支援体制】教職員・保護者ともに昨年度より「4」と「3」の割合の合計が2ポイント上回った。特別支援コーディネーターを中心に、職員で支援が必要な児童についての共通理解の場を設け、保護者の理解を得ながら支援員等を組織的に配置しながら取り組んできた成果であると考えられる。		

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

4 一人一人の児童生徒の尊重	5 友達への思いやり	②学ぶ楽しさやわかる喜びのある教育の推進
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。
【学校から】【4一人一人の児童生徒の尊重】保護者、児童ともに「4」の評価が増えており、児童の思いを受け止める取り組みの成果であると考えられる。しかし、「2」「1」の評価も見られることを重く受け止め、さらに児童を大切にする取り組みを継続していかねばならない。【5友達への思いやり】児童の自己評価は高いが、学校生活では、自分中心であったり、相手を傷つける言動が見られたりする。日頃から、子ども同士をつなげる取り組みや人を大切にする意識を身につけるような取り組みを行っていく必要がある。		

②学ぶ楽しさやわかる喜びのある教育の推進

7 ICT活用	③教職員の指導力向上	9 児童生徒理解
先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。
【学校から】大型テレビやプロジェクター、実物投影機など、ハード面での段階的な充実を図っている。「4」「3」を合わせた評価は高いが、保護者に浸透していない面があり、授業参観等での更なる活用を進めていきたい。		

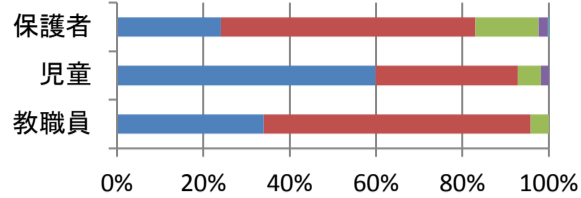
④健康づくりの推進

10 健康づくり	⑤学習施設の整備	⑥子どもたちの安全・安心の確保
子どもは、好き嫌いや食事をして適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。
【学校から】【健康づくり】食に関しては、好き嫌いや偏食気味の児童がおり、食量にも個人差が見られる。家庭との連携を図りながら食育を進め、望ましい食習慣づくりを行ってほしい。運動面では、外遊びを進んで行う児童とそうでない児童の差が大きい。体育部では、持久走、縄跳びの月間を設けるなど、進んで運動に取り組ませる機会を作っている。ゲーム等により生活習慣が乱れている児童もおり、望ましい発達についても、家庭との共通理解をさらに図りたい。【施設・設備の安全管理】三者において「2」「1」の評価があるので、その内容を分析し、安全点検を行い整備するなど、速やかな対応を行っていく必要がある。		

⑦家庭や地域社会の学校教育活動への参画・支援

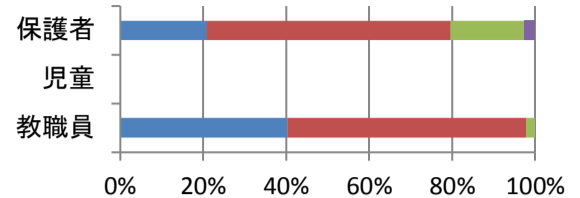
13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

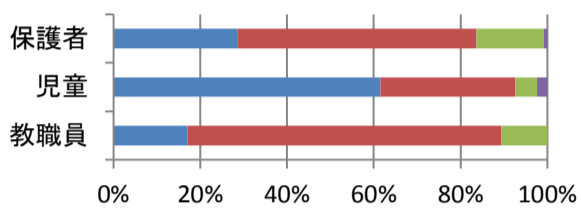


【学校から】【教育方針・目標の理解】児童では、「4」「3」の評価が増えている。保護者では、「4」「3」の評価が2%増え、「4」は5%の増加が見られた。保護者が集まる機会毎に校長から学校の教育方針などについての話をするとともに、本年度は、学校便りを多数発行し、理解を進めた結果であると考えられる。ただ、「2」「1」の評価があるので、発信方法を更に工夫していきたい。【家庭や地域との連携】日頃より、地域の「もったいない隊」やPTAの方々、各種団体の協力・支援により児童の安全や環境が守られている。保護者の「2」「1」の評価があるので、今後も、保護者との連携をより進めていけるような取り組みの工夫を行っていく必要がある。

本校の教育

15 1 あいさつ

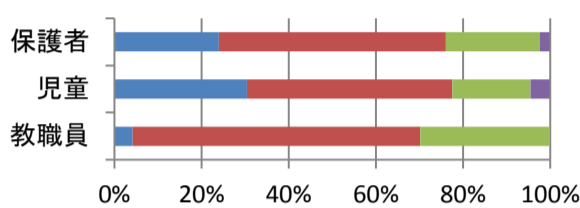
子どもは、よくあいさつをしていると思いますか。



【学校から】学校長をはじめ、各担任からも挨拶の大切さを機会ある毎に伝えており、挨拶の前に「〇〇先生」と名前を呼びかけるなど、定着してきつつある。三者とも評価は高いが、保護者や児童に「1」の評価が見られる。さらに地域の方にも挨拶が徹底していくよう、心の面での指導も大切にしながら取り組んでいきたい。

16 2 学力向上

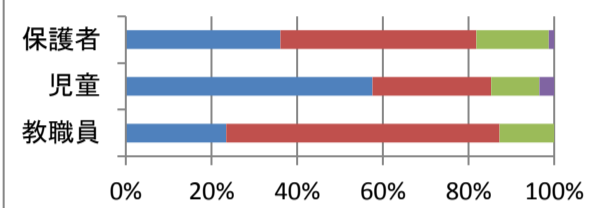
子どもは、家庭で、宿題も含め、よく勉強をしていると思いますか。



【学校から】三者とも「2」「1」の評価が20%を超えている。特に児童の「1」の割合が高い。家庭学習の継続の重要性の理解や学習への取り組み方、家庭での時間の使い方等も含め、保護者の協力を求めながら、習慣づけを図っていきたい。

17 3 体力向上

子どもは、外遊びやスポーツ等をして、体をよく動かしていると思いますか。



【学校から】昨年度より減ってはいるものの、児童の評価に「2」「1」が見られる。運動や外遊びに消極的な児童がいるので、休み時間の「学級遊び」や体育での運動機会の工夫等、教科体育の運動力確保など取り組みを進めていく必要がある。

来年度の具体的な取り組みについて

- 教育方針・目標については、今後とも、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を活用して発信していく。
- 道徳や心の教育、いじめの防止等については、引き続き日常的な指導や道徳、全教科の授業で指導を継続するとともに、「きずなアンケート」の実施や児童との信頼関係づくりを行うことで状況を把握し、問題に対して早期発見、早期対応ができるように全職員で取り組んでいく。
- 全国学力・学習状況調査や標準学力検査（NRT）の結果分析を行い、必要な学力を洗い出し、指導方法の工夫や学習時間の確保を行い、定着を図る。
- 児童の学習意欲の喚起のために、校内研修のテーマである「『わかる・できる』を実感する授業」を目指して研究を深めるとともに指導法の工夫改善を図り、児童の達成感、自己有用感につながるよう職員の共通理解の下実践していく。また、学びノートを中心とした復習、保護者と連携した家庭学習の習慣づけを図り、基礎基本の定着を徹底していく。
- 挨拶、食育、生活習慣等、全職員の共通理解の下、計画的な指導を行うとともに、家庭、PTAや地域諸団体と連携しながら基本的生活習慣づくりやマナーなどの規範意識の定着を図る。また、児童が主体的に考え、行動する児童会活動を組織し、自分たちの問題を自分たちで解決していく姿勢を育てる。
- 体力面では、体力テストの結果分析を行い、体育部を中心に課題の運動や体を動かす取り組みを工夫したり、教科体育で運動量の確保や指導法の工夫をしたりすることで、運動に親しむ態度を育てる。健康面、安全面では、日常の安全指導、養護教諭からの保健指導などの更なる充実を図り、主体的に行動できる児童を育てるために、計画的に取り組んでいく。
- 施設の安全面に関しては、月ごとの安全点検の徹底と充実を図り、危険箇所の修繕や危険箇所の撤去など、積極的に行い、児童が安全に生活できる環境の整備を進めていく。

学校関係者評価

- 昨年度と比較すると、全体的に若干ではあるが、高評価されている項目が多い。課題となっている「2」「1」の評価が減少するように、更に努力してほしい。
- 学校と家庭、地域の協力に関しては、更に努力が必要だが、保護者もPTA行事や地域活動にもっと参加してほしい。
- アンケートの家庭実数に対する回答数を考えると、提出状況は高いのではないかと考える。先生方の努力の成果ではないかと考える。
- 保護者が、児童の状況をよく分かっていないところもあるのではないだろうか。子どもに関する情報を学校と家庭で共有しながら取り組んでいくことが大切である。
- 家庭学習については、家庭の協力が必要である。保護者の理解と協力が得られるように、情報を発信しながら取り組んでいく必要がある。
- 学習面で意欲を高めるには、目標をもたせることが大切ではないか。スポーツ等でよくあるように、「なりたい自分」という目標を設定し、今すべきことを考えさせることで、考える力も高まるのではないかと考える。自分で考えることをせず、安易に答えだけを求める傾向にあると思う。
- 児童が目標をもち、意欲的に学習するためには、キャリア教育も重要であると考えられる。各学年で、先輩を招いたりして、学習する場を取り入れてほしい。
- 目標や意欲をもつには、競争も必要ではないか。例えば「なわ跳び大会」など、個人で取り組むようなイベントの実施も考え、頑張りを認める場を作してほしい。
- 子どもには、それぞれ得意なこと不得意なことがあるので、子どもの能力に合わせて、認め、ほめ、伸ばすことが大切である。
- 学校便りの配付や授業参観の期日の紹介などを通して、評議員や地域の方にも、より開かれた学校づくりを進めてほしい。